

東りんかん
自治会

ふれあいだより

第 194 号

自治会法人 東林間自治会
発行 松井 昭治
編集 広報部
印刷 (有)青史堂印刷

東林間自治会：相模原市南区東林間4-32-5 TEL/FAX：042-742-8297 TEL:042-851-5010
ホームページ：https://www.higashirinkan.org/

自治会役員を募集しています
希望の方は
事務所までご連絡ください

令和 8年4月29日 通常総会開催



世代をつなぐまちへ



松井体制スタート



会長挨拶



こんにちは。
令和8年度がスタート
いたしました。日頃より
自治会活動にご協力いた
だきありがとうございます。
本年度も、引き続き宜
しくお願いいたします。
昨年の重要項目として
防災関連と子ども育成を
掲げました。
子ども育成は、さつま
いもを育て収穫する農作
業体験の行事を増やすこ
とが出来ました。
防災関連については内
容が大きく進めることが
できませんでした。
最近、大きな地震が頻

発していますので、今年
は、地震発生から実際の
行動パターンをシミュレ
ーションし、各時点での検
証を行い自治会としての
活動及び必要物資の購入
計画を進める必要がある
と考えています。

現在、役員・活動協力
員をあわせても30数名で
す。

自治会活動を更に進め
るには人手不足です。
是非、皆さんの中でご
協力いただける方がいま
したらお願いしたいと思
います。

通常総会開催



議長選出



4月29日 通常総会

当日は参加79名。委任状64通の提出をもって
規約に基づき総会は成立いたしました。
令和7年度事業報告および収支決算報告が審議
され、第1号議案から第3号議案及び事業計画(案)
収支予算(案)第4・5議案、いずれも原案どおり
承認されました。
松井会長は任期1期2年目を迎え、副会長をはじめ
とする役員および協力員の継続について報告し
新体制を決定いたしました。
終始円滑な議事進行のもと、閉会いたしました。





左から・宇都木副会長・酒井副会長

松井会長・林副会長・杉山会計

令和 8年度 自治会法人 東林間自治会役員名簿											
役 職	氏 名	適 用	役 職	氏 名	適 用	役 職	氏 名	適 用	役 職	氏 名	適 用
会 長	松井 昭治	継続	文化体育部長	岩本 隆	継続	活動協力員	小湊 秀男	継続			
副 会 長	酒井 光政	継続	副部長	大内 良望	継続		松本 智介	継続			
	宇都木 幸司	継続	副部長	富家 キヨ	継続		藤原 治	継続			
	林 義嗣	継続	子ども育成部長	杉 明光	継続		吉原 幹生	継続			
会 計	杉山 伸一	継続	副部長	小野寺 正紀	継続		柳沢 行一郎	継続			
監 事	高安 孝至	継続	環境部長	斎藤 真也	継続		渡辺 幸雄	継続			
	宮崎 安通	継続	副部長	鈴木 節子	継続		中村 美津子	継続			
			副部長	飯室 輝雄	継続		野内 茂代	継続			
総務部長	宇都木 幸司	継続	福祉部長	阿部 匡秀	継続		浅田 敬治	継続			
副部長	土屋 英博	継続	副部長	満辺 秀昭	継続		萩原 薫	継続			
交通防犯部長	木全 広幸	継続	広報部長	南宮 隆	継続		長岡 彰	継続			
副部長	田村 晃一郎	継続	副部長	岡野 彰	継続	事務局	板倉 真美子	継続			
防災部長	酒井 光政	継続	副部長	田村 晃一郎	継続		上木原 美和	継続			
副部長	福田 忠文	継続	活動協力員	南 牧子	継続		菅井 礼子	継続			
副部長	石田 文孝	継続									(敬称略)

令和八年度役員 名簿

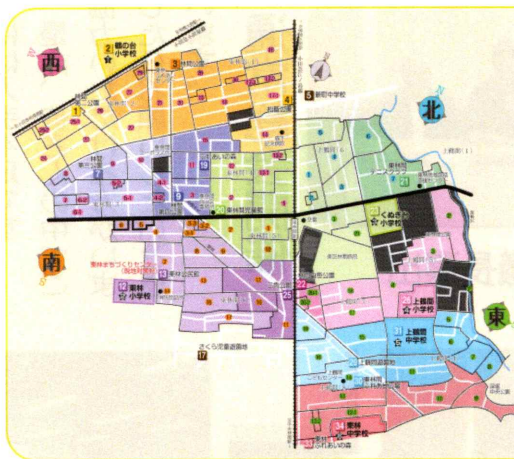
1年間よろしくお願いします



西 地区				北 地区			
区 名	区 長 名	区 名	区 長 名	区 名	区 長 名	区 名	区 長 名
西-1	菅井 薫	西-13-1	藤井 茂雄	西-25-1	青木 恵子	北-1	古木 孝行
西-2	和田 恒則	西-13-2	千代 涉	西-25-2	鈴木 幹男	北-3	長岡 政男
西-3	松岡 秀美	西-14	小松 信行	西-26	鈴木 壮平	北-4	大門 正男
西-4-1	中谷 和香子	西-15	加藤 俊一	西-27	高橋 紀光	北-5	難波 萬千子
西-4-2	武藤 浩太	西-16	堀 洋平	西-28	川越 隆	北-6	渡邊 裕
西-5-1	長島 芳則	西-17-1	有井 静男	西-29	黒澤 佐和子	北-7	阿部 匡秀
西-5-2	木村 勇作	西-17-2	都司 洋介	西-30	加藤 琢麻		
西-6-1	久野 純彦	西-17-3	富沢 昌子	西-31	蓮見 学		
西-6-2	小松平由美子	西-18	河本 淳一				
西-7	堀内 則江	西-19	後藤 正弘				
西-8	竹下 忠幸	西-20	大島 栄	※			
西-9	木村 雅幸	西-21	川崎 敏子	西13-2	5月交代予定		
西-10	斉藤 涉	西-22	佐藤 二三夫	西-29	6月交代予定		
西-11	安達 則昭	西-23	野浦 正幸				
西-12	羽飼 富士男	西-24	遠藤 好美				

令和八年度 新区長さん紹介

東 地区		南 地区	
区 名	区 長 名	区 名	区 長 名
東-1	吉崎 皇行	南-1	大石 方哉
東-2	遠藤 宏	南-2	森町 広志
東-3	高橋 創一	南-3-1	三品 拓也
東-4	江原 正喜	南-3-2	桑田 比砂江
東-5	熊崎 晃平	南-3-3	有馬 博
東-6	橋本 照久	南-4	川原 範雄
東-7	西垣 文男	南-5	土方 圭司
東-8	山崎	南-6	高本 淳一
東-9	米田 佳子	南-7	和泉 信之
東-10	清水 節子	南-8	小林 正志
東-11	光行 邦子	南-9	竹内 眞理子
東-12-1	中村 好子	南-10	清水 鶴子
東-12-2	加藤 一輝	南-11	前澤 美鈴
東-13	小林 松寛	南-12	原 牧
東-14	瀬底 通子	南-13	宮北 正幸



(敬称略)



5月18日、快晴のもと上鶴間中学校で、地震を想定した避難訓練が行われました。

東林間自治会と上鶴間中学校は、これまで連携して防犯特別授業を行って来ましたが、今年はさらに地域社会との連携を深めるため、自治会側から防災分野での協力を提案しました。

これまでは日時をあらかじめ知らせる訓練でしたが、今回は昼休みに抜き打ちで実施。誰がどこにいるか分からない状態から訓練が始まりましたが、避難指示の放送から全校生徒360人が校庭に非難し終えるまで、わずか10分以内という見事な結果でした。

避難完了後は、学校の防災担当教諭と自治会の酒井防災部長が講評を行いました。そこでは「発災直後の1分間の行動の重要性」や「非難所では中学生がボランティアの主戦力になる」ことなどが強調されました。

防災担当の先生からは「将来は教師にも予告しない抜き打ち訓練をしたい」との言葉もあり、学校側の防災に対する本気度が伝わってきました。

上鶴間中学校防災訓練

うどん作り体験



3月22日（日）自治会館にて、こども育成部主催の「うどん作り体験」が開催されました。

東林地区は水田が少なく畑作が中心であったことから、小麦粉を使用したうどんが日常食として親しまれてきたと伝えられています。

今回は、地域の伝統食を親子で体験しました。

当日は、まず作業上の注意事項の説明を行い、うどん作りのスタート。

小麦粉と水を合わせて丁寧にこね生地をまとめる。次に、うどん作りならではの工程「足踏み」。袋に入れた生地をリズムよく踏みコシを出していきます。

その後、包丁で丁寧に裁断し製麺機で細く整えると、機械から麺が出てくるたびに歓声が上がりました。



ゆで上がったうどんは、つややかで見ると美味しそうなお仕上がり。

つけ汁は、役員の女性陣が前日から心を込めて準備した特製です。出汁の香りが広がり、会場全体が食欲をそえられる雰囲気になりました。

試食の時間には「自分で作ったうどんはやっぱりおいしい」という声があちらこちらから聞えてきました。



なかには「家ではキノコを食べないのに、今日は食べられました」と驚く保護者の方もあり、手作りの力とみんなの温かさを改めて感じるひとときとなりました。

今回の体験を通して、子どもたちの笑顔が広がる活動をしていくので、次回もぜひ参加をお待ちしています。

歩け歩けハイキング

3月25日（水）「歩け歩けハイキング（恩田川の桜）」が開催され、34名が東林間神社に集合しました。

当日は、午前11時頃から小雨の予報だったため、文化体育部岩本部長の判断で急遽ルートを変更。まずは芹が谷公園へ向かい、天候次第で恩田川へと柔軟な計画でスタートすることになりました。

出発前には、富家副部長のリードで準備体操を行い、集合写真を撮影。

8時45分、元気に歩き出しました。神社から緑道を抜け、松陰公園の横を通り、深堀川沿いの桜を愛でながら上鶴間公民館でひと休み。境川のせせらぎを聞きながらJR町田駅を通りすぎ目的地である芹が谷公園に到着しました。

公園では、元気に自己紹介をしてくれる保育園児たちの微笑ましい交流もあり参加者の皆さんの心も和んだようです。公園北側の芝生広場では、スモモや黄シヨウブが美しく咲き誇り、多目的広場の「ジンダイアケボノ（神代曙・ソメイヨシノ系）」の前で記念撮影。美術館前でお弁当を受け取ったところで、予報通り雨が降り始め、残念ながら現地解散となりました。

あいにくの空模様でしたが、春の訪れを感じる一日となりました。



今回は快晴の下、ハイキングを楽しみたいものです。

毎年、桜の開花時期（今年は3月28・29日）には「町田さくらまつり」が芹が谷公園・恩田川その他数か所で開催されます。

最後の一枚はその際の恩田川の桜。

特別会員紹介（事業所） 第四弾

今回の紹介は東林間・上鶴間地区で開園70年目の林間のぞみ幼稚園です。

『林間のぞみ幼稚園70年の歩み』

林間のぞみ幼稚園

園長 藤本吉伸

東林間・上鶴間地区では、昭和25年頃から小田急電鉄が分譲した土地に住宅が建ち始め、当時、同地区の通学区域にあたる南大野小学校では転入生が急増していた。

当園の設立者である藤本正一は、その対応に当たるPTA役員の一人として学校に足しげく通うなかで、小学校生活に戸惑い、気持ちをもうまく表せない子どもたちの姿に接したという。そうした経験から、就学前に子どもたちが安心して集団生活に親しむ場の必要性を強く感じ、地域の方々に幼稚園設立への思いを伝えた。しかし当時は、「まだ早いのではないか」「運営は難しいのではないかな」という声が多く、賛同者は少数だった。

それなら自分がやるしかない、昭和31年に幼稚園を設立した。総園児17名と教職員3名という神奈川県内でも最小規模の出発だった。

そんな小さな幼稚園も、お蔭様でこの地に根付いて70年を迎え、卒業生は昨年度3月で七〇〇七名となった。

本年1月、70回目の創立記念日に

因んで開催した4日間の「ホームカミングフェイズ」には、500人近い方々が集い、再会を喜びあつて思い出話に花を咲かせた。

卒業生一人ひとりがそれぞれの個性を残しつつ、まぶしいほどに立派に成長した姿に、感激はひとしおだった。



昭和31年 創立園舎



令和8年現在園舎



私たちは、子ども一人ひとりをよく理解し、自らが育とうとする力を支える保育を進めている。子どもたちが心地よく幸福に生活できる場であるとともに地域の人々が交流できる場でありたいと願っている。

今後も引き続き、皆さまのご厚情とご支援をいただきながら励んでまいります。

どうぞよろしくおねがい致します。

ちよっと一息 おばあちゃんの知恵袋 第5弾（生活編）

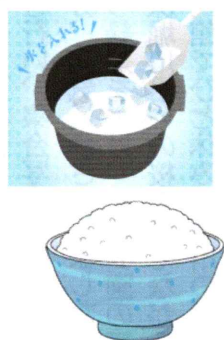
ご飯を炊くとき、計量した水の一部を氷に替えて入れると美味しくなると昔から言われています。

炊飯中の温度が、ゆるやかに上がりお米が時間をかけて火を通すことでお米の粘りや甘みのあるご飯に、炊きあがります。

その理由は、炊飯の際に水が沸騰するまでの時間が長くなり、結果浸水時間が長くなるからです。

氷は、1〜2個ほどで十分。

日々の食卓で受け継がれてきた、ささやかな台所の知恵です。



※ 第2回 区長会
◎ 7月11日（土）自治会館2階
※ クリーンデー
◎ 7月12日（日）雨天の場合翌週
※ 東林間西口まつり
◎ 7月18.19日（土/日）駅西口エリア
※ サマーわぁ！ニバル
◎ 8月1・2日（土・日）東林間エリア

計報

謹んでお悔やみ申し上げます

（申請期間）令和8年 2月 1日 ～ 令和8年5月31日

北	南	南	西	西	西	東	東	東
4	12	7	18	12	7	3	12-1	2
山内澄子	雨宮イト	長尾豪夫	松井金弘	庄司繁義	北澤義史	吉山昇滋	長谷川昌夫	田中トシ子
97歳	100歳	84歳	95歳	92歳	68歳	85歳	88歳	85歳

（敬称略）

計報名簿につきましては、ご遺族の同意を得た方のみ、掲載しています

HPで閲覧板・ふれあいだよりも閲覧できます。

あとがき

雨が少ない冬が終わり、新年度は雨のスタートとなった。晴天は続かないが、神奈川の各ダムの貯水率は気になるところだ。私ことでは、今年も昨年同様ペランダでトマトの栽培に挑戦中である。猛暑予想のあるこの夏、昨年を超える収穫を期待しているが、願いはかなうだろうか。

広報部 南